

わ げん あい ご 和 顔 愛 語

西法寺だより No.1 平成31年4月6日発行

ごあいさつ

この度、臥龍山西法寺がりゅうざん さいほうじよりご門徒の皆様へ『和顔愛語』わけんあいごという名称で西法寺だよりを配布いたします。
浄土真宗じょうどしんしゅうの教えや西法寺の行事内容・報告を伝えていきます。
年間2回(4月・10月)発行予定ですので、よろしくお願
いたします。

『和顔愛語(わけんあいご)』とは？

「大無量寿経」だいむりょうじゅきょうにある言葉で、自分自身のあり方として他者に対して穏やかな顔と優しい言葉で接する生き方、穏やかな笑顔と思いやりのある話し方で人に接するという意味です。

あなたの不機嫌ふきげんな行動や言葉はあなたひとりに止まらず、次から次へと伝わっていくでしょう。他人の不機嫌も自分に伝わり、楽しい気分が損なわれることもあるのです。

『和顔愛語』は、仏道修行・布施行ぶつどうしゅぎょう ふせぎょう(他人に財物などを施したり、相手の利益になるよう教えを説くことなど「与えること」)です。

仏さまの真似事まねごとといわれようとも『和顔愛語』を行い、ありのままの真実しんじつの教えおしに導かれ、少しでも仏さまのお心みちびにかなう生き方を目指しましょう。

浄土真宗のおはなし

じゅず 数 珠

じゅず ねんじゅ ぶつぜん らいはい
数珠は念珠ともいい、仏前で礼拝するとき用いる大切な
ほうぐ
法具です。

数珠はもともと念仏の数をかぞえるものと言われてきました。
しかし浄土真宗では、煩惱ほんのうの身をそのままお救い下さるみ仏
あお
を仰ぐ法具として、礼拝のときには必ず両手にかけて合掌がつしょうします。

また、数珠はみ仏を思い起すよりどころとなりますので、仏前
だけでなく常に身につけ、嬉しいときも、悲しいときも、お念仏
することが大切です。

数珠を投げたり、畳の上に直接置いたりしないように、てい
ねいに取り扱いましょう。



手にも数珠
心にも数珠
かけましょう

行事報告

たけとうろう

おもちつき&竹灯籠作り

平成30年12月16日(日)



昨年で4回目のおもちつき。
お越しいただいた皆さまのお陰で今回も賑やかに行うことができました。

おもちつき後の工作は、前回までは『もちばな』でしたが今回は『竹灯籠』を制作。仏教壮年会の方々に竹を用意していただき灯籠を作成。子どもたちが文字や絵を描いて完成。



その竹灯籠を『除夜の鐘』の際に飾らせていただき、温かい灯に包まれ新年を迎えることができました。

沢山のご参加・ご協力のお陰で笑い声が響く和やかな一日となりました。
心から感謝申し上げます。
令和元年5月12日の永代経法要にも飾らせていただきますので、是非、ご参拝ください。



西法寺 今後の予定

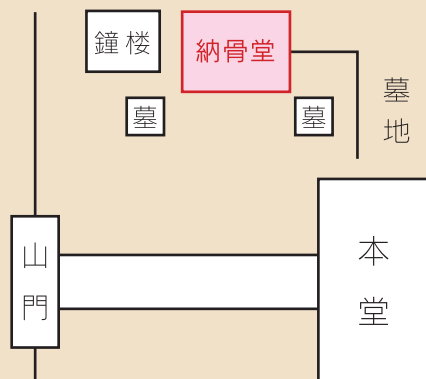
納骨堂設置予定について

納骨堂は亡くなった方のご遺骨を安置する場所ですが、それだけでなく遺された者が故人を偲び、仏縁を大切にする心の拠り所でもあります。

西法寺では皆様のご先祖のお骨をお預かりする納骨堂を下記の場所に設置する予定です。

詳細については追ってお知らせいたします。

予定場所



臥龍山 西法寺

〒671-0122 兵庫県高砂市北浜町北脇110
TEL 079-254-3777 FAX 079-254-4588
<https://saihouji.localinfo.jp/>